

令和4年度 年間授業計画					
教科・科目		国語 古典B		2 単位	
対象学年・組		2 年生		文系 必履修	
教科書 (出版社)		標準古典B (第一学習社)		副教材等	『学習課題集改訂版 標準古典B』第一学習社『要点体系古典文法』数研出版『古文単語330三訂版』いっずな書店
学習目標		1、古典に親しみ、もの見方・感じ方・考え方を広げる。 2、古典文法について、用言・助動詞について基礎的事項を習得する。 3、漢文について、構造と訓読の仕方を習得する。			
学期	予定 時数	単元	指導内容		具体的な指導目標
1	前半	12	説話 随筆	『古今著聞集』「古式部内侍が大江山の歌の事」 『徒然草』「公世の二位のせうとに」 古文単語、助動詞活用小テスト	古典の説話、三大随筆に親しむ。文法・古典語彙などを理解する。
	後半	12	随筆	『方丈記』「ゆく川の流れ」 『枕草子』「中納言参り給ひて」 古文単語、助動詞活用小テスト	三大随筆に親しむ。文法・古典語彙などを理解する。
2	前半	14	故事・寓話と古代の史話	『孟子』「助長」 『歴代名画記』「画竜点睛」 『列子』「朝三暮四」 古文単語、助動詞活用小テスト	故事・寓話に親しみ、漢文法・語彙などを理解する。
	後半	14	日記	『更級日記』「門出」 古文単語、助動詞活用小テスト	日記文学に親しみ、当時の人々の日常に触れる。
3	18	日記	『更級日記』「源氏の五十余巻」		日記文学に親しみ、当時の人々の日常に触れる。
評価の観点 (評価基準)		古典に関する読解力を育成できたか。様々な文章の内容を的確に読み解くことができたか。読解に必要とされる知識を習得できたか。			
評価の方法		定期考査・小テスト・休業中の課題・授業の出席状況・提出物・授業への取り組みを総合的に判断する。			
学習の手引き		①教科書・副教材・ノート等を用意して授業に臨む。②テキストをじっくり読む。③積極的に考える。④授業者やクラスメートの話をしっかり聴く。⑤考えたことを言葉で表現する。⑥基礎的・基本的事項を覚える。			
授業担当者		畠山慎太郎・古川洋子			